

保健婦雑誌 第55巻 総目次

1999年(1-13号)

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ)

●特集

[1月号] 移植医療と保健活動の接点を求めて

保健活動としての臓器移植：前田秀雄，1, 6.

臓器移植を望む声を聞く——市村秀夫氏へのインタビュー：斎藤真理子，1, 9.

移植医療の現状と課題：安行由美子，1, 15.

これからの移植医療の方向性と保健所に期待される役割：眞鍋馨，1, 21.

東京都における臓器移植に関する普及啓発の展開：東海林文夫，1, 30.

臓器移植医療における健康援助について考える：長谷川浩，1, 36.

[2月号] 介護保険時代を前に、これからの地域保健活動を考える

介護保険時代の保健婦活動：斎藤真理子，2, 90.

21世紀の保健福祉行政の役割と介護保険制度創設に伴う保健婦の保健活動——研究報告『これからの行政組織における保健婦(士)活動のあり方に関する研究II—介護保険制度を視野に入れて』から：河原智江，2, 94.

[座談会] 介護保険時代を前に、これからの地域保健活動を考える：平野かよ子・磯部光彦・佐藤美貴子・斎藤真理子・村田昌子・中谷肇一，2, 101.

介護保険制度の推進と保健所活動に期待するもの：吉田秋子，2, 115.

東京都保健所における介護保険への取り組み——介護保険準備の現場から：金子靖子，2, 122.

介護保険時代の成人保健事業——介護保険準備の現場から：今田愛子，2, 130.

清和村での活動——介護保険準備の現場から：高木美穂子，2, 134.

いま、なぜ健康政策なのか：浜田加代子，2, 138.

[3月号] 保健婦活動論文集

[座談会] 研究することの意義と効果：成木弘子・守田孝恵・越田美穂子，3, 182.

住民主体型のグループ育成をめざした保健婦活動のあり方に関する研究——グループの形態分類：九島久美子・鳩野洋子・田中久恵・伊藤昌子・釘本祥子・

野元寿美子・深谷千穂里・人見ますみ・小田和子・成中政子，3, 194.

1歳6か月児健康審査の事後指導としての育児相談教室の意義——育児相談教室における母親の子どもへの関わりの変化：篠森紀子・花崎みゆき・沖原綾美・河内生子・串部美穂・岸畑直美・長尾秀夫，3, 201.

福祉分野における保健婦の意識に関する研究：三浦たみ子・丸山美知子，3, 205.

町村支援に関わる保健所・保健所保健婦の機能に関する研究(その1)——保健所婦長・支援担当保健婦への支援内容調査：金子仁子・佐藤紀子・佐藤由美・北山三津子・杉井和美・三村芳子・高木きく・山岸春江・平山朝子，3, 213.

タイ北部におけるHIV感染者のサポートプログラムの効果アセスメント：大森絹子，3, 221.

在宅ケアを可能にする住まいのあり方に対する一考察(2)——ADL向上をめざした住宅改造に関する事例検討：深江久代・三輪真知子・岡村昌子・杉山郁子・築地多津子，3, 227.

[4月号] 健康文化都市づくり事業のいま

健康文化都市のめざすこと：菊田高章，4, 272.

ヘルスプロモーションと健康文化都市：島内憲夫，4, 276.

「感性が語る健康文化都市」

写真家の目で見た健康文化都市：テラウチマサト，4, 288.

音楽家の目で見た健康文化都市：片岡慎介，4, 292.

「健康文化都市指定のまちの動き」

白井町の健康文化都市事業：笠井喜久雄・他，4, 294.

Healthy Town 21は夢・まち・ひと——地球サイズの夢づくりをみんなで：田中尚恵，4, 306.

「健康文化都市指定以外のまちの動き」

健康なまちづくりの推進を支援する——佐渡島からのメッセージ：金子淑子，4, 310.

住民と一体となった健康なまちづくりをめざして——山鹿市からのメッセージ：永杉喜美代，4, 318.

生涯を生き生きと暮らす健康づくり——板橋区からのメッセージ：細川敦子・佐藤恵子・千葉祥子・福寿容子，4, 322.

[5月号] 保健婦の教育を考える—基礎教育と現場をつなぐ

[対談]基礎教育の到達目標と現任教育に期待すること：山崎京子・滝沢佐智子，5,366.

新人保健婦の戸惑い—本誌のアンケートより：本誌編集室，5,375.

保健所が行う市町村保健婦の新人教育：市來愛子，5,384.

現場での新人教育—15年を振り返って：山下実千代，5,389.

富山県における保健婦研修体制：吉田智子，5,393.

保健婦の現任訓練のあり方に関する研究調査事業—OJT指導マニュアル—平成9年全国保健婦長会調査研究会：北尾玲子，5,398.

[6月号] いまどきの子どもの健康—養護教諭をパートナーに

子どもの健康問題の変遷—身体の問題について：正木健雄，6,458.

近年の子どもの健康感とストレス対処について—横浜地域での調査結果から：岡田守弘，6,465.

養護教諭から見た子どもの健康問題とそれに対応した活動：野村昇子，6,471.

総合活動「ヘルシータイム」の取り組み—子ども自身が食生活を見直すための試み：小熊三重子，6,476.

不登校生徒へのアプローチ：川島令子，6,480.

生と性の学習を实践して—保護者や地域の専門家の力を借りながら：岩辺京子，6,484.

保健所がめざす管内市町村と養護教諭の連携：林敬，6,493.

[7月号] NPOが住民参加を超えるとき

NPOと地域保健活動—その親密な関係：前田秀雄，7,544.

「介護保険法」とNPO：田中尚輝，7,547.

ソーシャル・マーケティングとNPO：田中良明，7,554.

行政、医療とのネットワークによる民間エイズ活動：池上千寿子，7,558.

「府中地域福祉会えりじあ」の取り組み—NPO的精神保健福祉活動：白戸雅美・関和子，7,563.

国際化をとげる社会の中で住民と行政サービスを結ぶ—NPO的国际保健活動：沢田貴志，7,567.

共に支え合う地域づくりをめざして：岩崎寿美男，7,569.

[8月号] 保健婦の地区活動を再考する—地区とはなにか

[座談会]保健婦と地区の関係を考える：茅山加奈江・石毛久美子・若杉里実・増田佳世・小林啓子，8,630.

コミュニティとはなにか：奥田道大，8,642.

[コミュニティの崩壊と再生]

保健婦の子育て支援とコミュニティ形成—横浜市瀬谷区保健所の試みから：新堀嘉世子・名和田是彦，8,647.

「誰もが安心して暮らせる町」をめざして—茨城県牛久市での実践：秦靖枝，8,655.

[9月号] 保健婦の地区活動を再考する—ニーズ把握とplan・do・see

保健婦の視点を生かす地区診断：成木弘子，9,718.

保健ニーズとその明確化：星旦二・藤原佳典・崔玉蓮，9,726.

地域看護診断方法：金川克子・斎藤恵美子・河野あゆみ・狭川庸子・都築千景・田高悦子・永田智子・永井さなえ・本田亜起子，9,731.

大学教育での地区診断への取り組み：中村裕美子，9,736.

[10月号] 保健婦の地区活動を再考する—ニーズ把握事例集

地域診断事例—統計資料に基づいたニーズ把握と保健計画の立案について：西田茂樹，10,804.

閉じこもり高齢者調査から見えてきたニーズ：山田孝子・蘭牟田洋美・安村誠司・阿彦忠之，10,811.

[ニーズ把握の新たな動き]

PCM手法でニーズを考える：小島光洋・稲葉洋恵・島谷富美子，10,815.

グループインタビューによるニーズ把握—住民の本音を聞く方法：細川えみ子，10,823.

総合的支援体制の構築を目指した地域保健活動事業からのニーズ把握：鈴木晶子・清水洋子，10,829.

[plan・do・seeの繰り返しの中で]老人性痴呆患者ケアシステムにおける連携について：永井美登利・小沼文子・山口文子・石川尚美・八重樫友，10,836.

[行動先行型ニーズ把握]在日外国人親子への支援について—育児交流会を通して：沼田かほる・大澤千加子・半田須美子・作間智鶴子・那須文子・比企愛子・白田千代子・川岸真知子，10,839.

精神障害者グループホームから見えてきたニーズ—住民によるニーズ把握：内田聖子，10,844.

[11月号] 公衆衛生活動の過去・現在・未来

20世紀から21世紀へ：大谷藤郎，11,894.

公衆衛生活動の専門家としての保健婦の未来：平野かよ子，11,901.

市民参加と地域ケア：石川左門，11,907.

ヘルスプロモーション開花の時代：成木弘子，11,913.

共生と受容の科学：岩室紳也，11,918.

公衆衛生とDNAそして代替医療：長岡常雄，11,924.

21世紀の公衆衛生と保健婦—ヘルスプロモーションをめざす看護職：斎藤泰子，11,929.

たかが保健婦されど保健婦：鈴垣育子，11,934.

[インタビュー]21世紀・都市の公衆衛生の仕組みづくり — 異質な人・活動が、いきいきと共生・発展する街づくり：佐々木峯子，11, 939.

[増刊号] 地域保健活動の焦点—21世紀を目前に

I章 現代社会とヘルス

[対談]現代社会とヘルス：平野かよ子・町永俊雄，12, 984.

II章 保健所は強化されたか—地域保健法施行後の活動総括

地域保健法施行後の保健所機能の総括と今後の展望：田上豊資，12, 995.

大都市における公衆衛生戦略 — 保健所・保健センターの果たすべき役割：前田秀雄，12, 1002.

政令市における地域保健法施行後の活動総括と今後の展望と課題：工藤啓・高橋香子・大室鮎美，12, 1006.

特別区保健所再編，その後：細川えみ子，12, 1012.

中核市における現状と今後の展望：犬塚君雄，12, 1017.

中核市・政令市保健所の活動：西牧謙吾，12, 1022.

健康福祉センターの組織統合の経過と今後の課題：牧野由美子，12, 1028.

III章 地域保健活動 21世紀の焦点

事前対応型危機管理 — 緊急時における医療対応と事前対応のあり方：貞本晃一，12, 1035.

少子化：加藤則子，12, 1040.

高齢化：渡辺修一郎，12, 1047.

高知県における教育研修 — 現状と今後に向けて：今井淳・中島信恵・西本靖男・鈴木秀吉，12, 1054.

保健サービスの公的責任と効率性：武村真治，12, 1059.

精度管理機能：渋谷いづみ，12, 1064.

住民参加と NGO：松田正己，12, 1071.

根拠に基づいた地域の健康課題の解決にむけた目標設定 — 『健康日本 21』を例に：島田美喜，12, 1076.

プライバシーの保護と情報の共有化 — 虐待ケースを通して：谷里江・佐藤郁子・矢野一枝，12, 1082.

これからの感染症対策：尾崎米厚，12, 1091.

「健康」を支援する地域の仕組みづくり — ヘルスマーモーションを根づかせるために：箕形崇史，12, 1096.

生活習慣病の手立て — 上越市健康回復 5 か年計画推進事業：藤原満喜子，12, 1101.

21世紀の環境保健：湯田真喜雄，12, 1106.

IV章 21世紀の保健婦をめぐる焦点

[座談会]保健婦に求められる発想の転換：丸山美知子・島海房枝・小林サチエ・日隈桂子・大木幸子，12, 1113.

[12月号] 「民」の視点からの保健婦活動

行政の枠，自分の枠を破ってみよう：石橋幸滋，13, 1134.

保健婦として当事者として：アールグレイ，13, 1139. 国際協力の立場から考える「民の保健婦」：大西真由美，13, 1144.

起業家として，民間の発想による保健婦の現任教育に関わって：村田陽子，13, 1150.

負け犬の遠吠え — リプロダクティブ・ヘルス/ライツのために：赤松彰子，13, 1154.

NGO・障害児の親の会の活動から：池谷迪子，13, 1159.

行政と訪問看護ステーションでの経験から：佐藤幸子，13, 1164.

「人権」から「看護哲学」への思索：足立紀子，13, 1168.

●PHOTO

保健所です！文化祭にお邪魔します — 品川区荏原保健所の高校文化祭への取り組み，1, 1.

3世代交流で子育て支援の輪を広げよう — 横浜市瀬谷区保健所の「ちびっこフェスティバル in 瀬谷第二」，2, 85.

“パートナードッグ(介助犬)”をご存知ですか？：日本パートナードッグ協会，3, 177.

“健康”のある風景 — 写真家の目でみた健康な街：テラウチマサト，4, 267.

“おじいちゃん・おばあちゃん先生”が教室にやってきた — 中野区立しんやまの家の高齢者による新山小学校との交流事業：中野区立しんやまの家・中野区立新山小学校，5, 361.

家庭ごとに最適な室内換気の方法を出張指導 — 在宅療養者や乳幼児を室内空気の汚れから守るために：目黒区保健所，6, 453.

Kidsafe にモデルルームが完成 — 池袋保健所子ども事故予防センター：豊島区池袋保健所，7, 539.

インファント・マッサージをご存知ですか？：東京都稲城市第2文化センター「ベビーマッサージ教室」，8, 625.

こどもたちの健やかな成長を目指して：こどもの城小児肥満のための指導者講習会，9, 713.

バナナクラブは味も笑顔も多国籍 — 在日外国人親子の育児交流会：中野区中野保健所南部保健相談所，10, 799.

介護にふれる夏休みの1日 — 「こどものための介護教室」：杉並区さんあい公社，11, 889.

“街のやさしさってなんだろう”新宿の街を Check — 新宿キャンペーン'99タウンウォッチング：『生活・環境づくり 21』主催，13, 1129.

●特別記事・特別寄稿

日本で1頭でも多くの“パートナードッグ”を！：粟屋雅明，3, 237.

感染症新法と保健婦(士)活動：橋本雅美，7, 573.

エスノグラフィーを取り入れた地域アセスメント — コロラド大学看護学部修士課程地域アセスメントコ

ースに参加して：麻原きよみ，7,576.
インファントマッサージで深まる親子の絆：草間裕子，8,661.
地域社会に根ざした介入，アウトカムおよび研究——マギルビー博士の講演紹介：松谷美和子・都筑千景，13,1178.

●研究・調査報告・活動報告

実践現場の情報から施策につなげる思考への期待——『平成9年度保健婦(士)活動領域等調査』における都道府県，政令市，特別区における概要から：半澤節子，1,44.
一保健婦の地区活動の実態から導いた援助行為の特徴：坪内美奈，5,407.
在宅ターミナル患者をみとった家族の死別期における悲嘆反応とその支援：川又一絵・降旗美佳・亀井智子・島内節・高階恵美子，5,413.
早期痴呆性老人の家族支援能力を決定する因子：池田初美・西田実・三矢早美・辻元宏，6,498.
寒冷広域地域における1人暮らし高齢者の外出行動：工藤禎子・三国久美・深山智代・桑原ゆみ・丸山良子・辻カヨ子・高村範子・武井英子，6,506.
家庭訪問優先順位決定に関する研究——乳児への家庭訪問計画・実態調査から：渡辺輝美・金子仁子，7,583.
主体的な学習を目指した教育方法の検討——ゼミナールを取り入れて：原田小夜・畑野相子・宇野千賀子・高橋里玄・平岡千夏，7,591.
地域のひとり暮らし高齢者の閉じこもりの実態と生活状況：鳩野洋子・田中久恵，8,664.
岐阜県内市町村における福祉保健婦の役割に関する現状と課題——関係者の期待と現実：三徳和子・望月朝味・高橋智恵美・井戸眞佐美・吉田久代・川井裕子・河合妙子・古木薫・窪田千年，9,742.
十津川村での健康づくり活動：店野佐地子，9,747.

●国試を読む

(13) 高齢者を対象とした地区診断と活動：村山正子・炭谷靖子・池戸啓子，1,57.
(14) アルコール依存症患者への対応：奥野ひろみ・西本正子・山城厚生，2,146.
(15) 子育て支援と実態調査：長岡常雄・新井もも子・原小百合，3,240.
(16) 健康教室の評価：錦織正子・伊東あゆみ・小川愛子，4,326.
(17) 保健統計と老人保健計画：長岡常雄，5,424.
(18) 子供の虐待：山田和子・橋ヶ谷寿子・長池敦子，8,670.
(19) 肥満者の生活習慣改善：増田佐智子・大録麗子・竹尾悦子，9,760.
(20) 精神障害者の自立生活支援：永井優子・松浦美紀・佐藤和子，10,849.

(21) 骨粗鬆症についての健康教育：杉山真澄・安間剛・鈴木香賀，11,945.
(22) 疾病のスクリーニングと統計調査：長岡常雄，13,1193.

●いま知っておきたい環境問題

(1) ダイオキシン：田中勝，1,66.
(2) 電磁界の健康への影響：大久保千代次，2,153.
(3) 生活排水とその処理：河村清史，3,247.
(4) 水道水：国包章一，4,334.
(5) シックハウス症候群：池田耕一，6,514.
(6) 環境ホルモンの健康影響：香山不二雄，7,597.
(7) 地球環境問題の健康への影響——地球温暖化とオゾン層の破壊を中心に：内山巖雄，8,682.
(8) 家屋内生息性ダニ類とアレルギー：吉川翠，9,770.
(9) 商用周波電磁界の健康影響——最近の動向：大久保千代次，10,860.
(10) 環境の放射能(線)：出雲義朗，11,954.
(11) 空気の細菌汚染：山崎省二，13,1186.

●大都会の中の小さなまち しんやまの家ストーリー：佐谷けい子

(1) プロローグ，1,74.
(2) ナイスミドルの健康講座の誕生，2,166.
(3) 組織活動としてのナイスミドルの健康講座，3,258.
(4) 健康学習は末広がり，4,340.
(5) 小学校はお隣さん，5,428.
(6) 男が地域の人になったとき(その1)，6,524.
(7) 男が地域の人になったとき(その2)，7,604.
(8) 生きがいとやりがい，8,696.
(9) 明日は我が身と思って(その1)，9,782.
(10) 明日は我が身と思って(その2)——80歳以上の高齢者向け会食会『四季の会』，10,870.
(11) 健康づくりのこだま，11,962.
(12) 住民はそこに住みつづける人，13,1198.

●ヨウスケとトシヒロのこの人に聞きたい：山根洋右・岩永俊博

ゲスト：更谷慈禧・店野佐地子・辻きさよ，9,752.

●感染症 Up to Date

(40) 都立高校文化祭への「出張保健所」エイズ予防啓発(その2 平成10年度のアプローチ)：金子道子・湯本麻美子・野間香保・柳由美子・浅野弘美・木村美枝子，1,80.
(41) HIV/AIDS 業務に役立つ文献紹介：林素子，2,172.
(42) 老人の多い施設でのインフルエンザ予防——予防接種の導入の是非について：渡辺修一郎，3,264.
(43) 結核対策の評価と質の向上に向けて：阿彦忠之，

- 4, 354.
(44) HIV 感染者の経済的負担に関する調査について：アールグレイ, 5, 442.
(45) NPO 法と AIDS-NGO：今井文一郎, 8, 708.
(46) CRIATIVOS-HIV/AIDS 関連支援センターのラテン・プロジェクト：岩木エリーザ・津島ソニヤ・遠藤明子, 9, 792.
(47) ピル解禁に向けての議論 — ピルの使用が STD を蔓延させるか：北村邦夫, 10, 880.
(48) HIV 感染者の地域における療養支援システム構築に向けて — 東京都北多摩南部保健医療圏での活動：畠山明美, 11, 976.

●世界のフィールドから 健康づくりはボーダレス

- (1) 世界のまちづくり, むらづくり：中村安秀, 4, 348.
(2) スラムの住まいと健康 — カンボジア：加藤麻由美, 5, 436.
(3) 大都市の高密度居住地区における地域保健活動 — バンコクの都市スラムでの試み：高島義裕, 6, 528.
(4) 住民の手による街づくり — スリランカの住民参加型活動：島本護, 7, 609.
(5) 国際 NGO の役割 — 医療援助を中心に：伊勢崎賢治, 8, 702.
(6) ピンクの母子手帳 — インドネシアの母子保健活動：佐藤善子・中村安秀, 9, 786.
(7) 地域に根ざした障害者リハビリテーション — CBR — タイ国カンチャナブリ県ラオクワン郡での住民参加の地域社会開発：斉藤百合子, 10, 874.
(8) 韓国の医療協同組合：稲本悦三, 11, 966.

●ドメスティックバイオレンス

- (1) 家庭の中の「女性」と「子ども」 — 2 つの虐待問題が「ともに視野に入る」時代を迎えて：波田あい子, 4, 345.
(2) 夫やパートナーからの暴力 — 深刻な事態が明らかに — 東京都「女性に対する暴力」調査報告より：大村裕子, 5, 432.
(3) シェルター・サポートの現場から — 保健婦さんとの連携：堀琴美, 6, 534.
(4) 私たちはバタード・ウーマンだった：野本律子, 7, 612.
(5) 人生を変えようとする女性たち：松田知恵, 8, 699.

●AIDS医療の最前線から地域へのフィードバックレポート

- (1) UNAIDS サンドラ・アンダーソン博士講演報告 — 世界の AIDS の状況と予防活動の重要性：石原

- 美和・高野操, 8, 690.
(2) バンクーバー研修報告(1)：古澤美和, 9, 777.
(3) バンクーバー研修報告(2)：池田和子, 10, 866.
(4) 我が国の HIV/AIDS の状況と在宅療養支援：石原美和・池田和子, 11, 969.
(5) HIV/AIDS 患者に対する在宅療養支援の現状と課題：石原美和, 13, 1180.

●ニュースウォーク：白井正夫

- (10) 島の知恵揺れる, 1, 78.
(11) 介護保険料はいくら, 2, 170.
(12) 痴呆介護は私たちの宿題, 3, 262.
(13) 先端機器と減塩と, 4, 352.
(14) 「外部の目」の出番, 5, 440.
(15) 見えてきた介護保険料, 6, 532.
(16) 何を語る「子育てマップ」, 7, 616.
(17) 専門職だけでは…, 8, 706.
(18) 負担の痛み知って — 介護保険料, 9, 790.
(19) 「在宅」かなえる条件, 10, 878.
(20) 介護保険のアフターケア, 11, 974.
(21) 福祉施設の危機感, 13, 1202.

●BOOKS

- 「隔離の里 — ハンセン病回復者の軌跡」(宮下忠子 著)：麻原きよみ, 1, 82.
「よりそってケア — 痴呆老人とともに」(横谷武編 著)：牧上久仁子, 1, 83.
「ケアマネジメントハンドブック」(白澤政和著)：岩崎桃恵, 4, 356.
「精神障害者のためのケースマネジメント」(江畑啓介監訳, チャールズ・A・ラップ著)：竹島正, 4, 357.
「専門看護制度 — 理論と実践」(佐藤直子著)：藤田美江, 7, 618.
「障害を持つ子を産むということ — 19 人の体験から」(野辺明子・加部一彦・横尾京子編)：眞崎直子, 7, 619.
「保健・医療・福祉のための論文のまとめ方と書き方」(鈴木庄亮・川田智之著)：竹内康浩, 9, 794.
「セルフヘルプ・グループの理論と展開」「セルフヘルプ・グループ活動の実際」(久保紘章・石川到覚編)：山須田順子, 9, 795.
「看護のための人間発達学 第2版」(舟島なをみ著)：奥野ひろみ, 10, 884.
「国際協力のフィールドワーク」(庄野護著)：谷敷時子, 10, 885.
「在宅看護・介護」(石田喜義著)：鈴木恵子, 13, 1204.
「アディクションアプローチ — もうひとつの家族援助論」(信田さよ子著)：村中峯子, 13, 1205.